



ごんごバスにゆられて



森忠政が再興した城下町の総鎮守

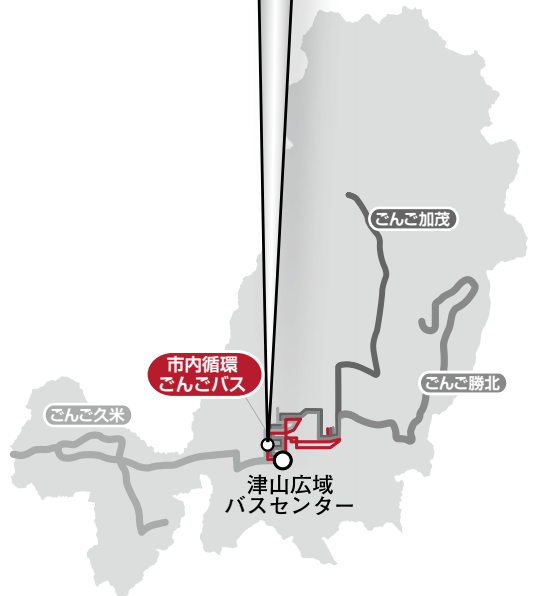
（県指定重要文化財 徳守神社）（宮脇町）

バス停から旧出雲街道を西に200メートルほど行くと、南側に徳守神社があります。

徳守神社は天平5年（733）に創建されたといわれ、戦国時代に戦火を被り荒廃していました。慶長9年（1604）、津山藩主・森忠政は津山城築城に先立ち、徳守神社社殿を造営し城下町の総鎮守としました。現在の社殿は寛文4年（1664）に森長継が新築したもので、当時の拝殿・

釣殿・本殿の3棟が一そろいで残っている大変貴重なものです。

拝殿は、正面に突き出た部分（向拝）のほかは、極度に装飾性を抑えた外観ですが、本殿はかなり派手さが加わります。それを端的に物語るのが軒下の組物で、尾垂木の先端の象鼻形の彫刻や花模様（おだまり）の籠彫り（かごぼり）など。華やかな装飾性の要素が見受けられる江戸時代初期の代表的な中山造（やまなかぞう）の建築です。



津山まつり（6ページに掲載）では社殿にも目を向けてみませんか。

※美作地域独特の神社建築

問い合わせ先 文化財課

☎24・8413



- 特集1 津山だんじり……………3
県指定重要有形民俗文化財
- 特集2 津山の秋祭り……………6
- 市政だより……………8
つやまっ子・未来債
地域材を使用する新築住宅に補助金
高齢者の季節性インフルエンザ予防接種
ほか

- 【まちかど写真館】……………16
みまさか市民活動フェスティバル2009 ほか
- 【ごんごクラブ】……………18
未来をひっぱる津山人
わたしのおすすめ
- 【けいじぼん】……………21
- 【くらし】……………26
- 【洋学博覧漫筆】……………28
～榕菴のコーヒー研究～